



発行  
浮田地区コミュニティ会議  
電話&FAX  
0198-42-1681

タイトル画説明

剪定したびわの枝葉を庭仕事を生業とする友人から届く。枝にはベルベットのよう茶系のふわ毛の花がいっぱいついていて、雪の中でも緑の葉のアオキ、マサキ。  
絵・文(実)

**立木伐採・刈払い作業**

11月22日、毒沢海老田橋から釜石自動車道沿いの土手を煙突倶楽部の会員により作業が行われました。この取組はコミュニティ地域内で伐採等必要な場所を選抜し、実施されているものです。

管内には道路に木の枝が覆い被さっている所や雑草の生い茂っている場所が沢山あり、景観や安全の面で良くない状況になっています。

今回は約二百mの範囲を整えることが出来、とても見通しが良くなりました。今後可能な所を少しずつ対応して行きますので、よろしくお願いします。(賢)

**ホッとする歌声サロン**

コミュニティ会議では、高齢者が触れ合ったりおしゃべりしたりする機会を提供することで、日頃の運動不足解消や若返りを図ろうと「歌声サロン」を開催して3年目になります。伴奏はアコーディオン奏者の肥田葉子さんと、歌のリードは川上芳子さん。11月12日を皮切りに毎週水曜日、3会場で行い、のべ82人が集いました。



ウォーミングアップには、野菜の名前を順番通り10個も暗記する手遊び歌で頭の体操。そ



して懐かしの唱歌などを30曲ほど歌って、楽しみました。年齢は60代から90代前半くらいまでの方に参加して頂きました。帰りに「楽しかったあ」と言う皆さんのこやかな表情から、運動効果やストレス解消も促されたと感じたサロンでした。(多)



# 「輝け！オラホの館の大賞」

今回は6公民館により行なわれたこの企画も、3回目となりました。どの公民



毒沢公民館

館も、前年を上回る光のパフォーマンスを見せてくれました。12月1日から点灯が始まり、同月9日には結いの里編集委員により厳正な審査が行なわれました。結果は、大賞・毒沢公民館、金賞・中内公民館、銀賞・石宮公民館となりました。努力の甲斐あって各公民館とも素晴らしく、審査も難

しかったです。構想、装飾に携わった方々、お疲れ様でした。一般家庭でもイルミネーションを楽しんでいる様子が前年より多く見られた気がしました。日が短くなるこの時期、田舎ならではの…の暗さを逆手にとる灯りはとても映えていいものです。この「輝け！オラホの公民館大賞」が次回も行なわれますように!!(美)



中内公民館

石宮公民館



島公民館



下浮田公民館



太田目公民館

# 花咲け卒業祝い

1月17日、浮田振興センターで贈呈式が行われ、小学6年生と中学3年生、計13人に記念品が贈られました。地域活動への貢献に感謝し、今後の活躍を願う温かな式となりました。(郁)



# 冬のスポーツシャフル!!

浮田地区コミュニティ会議の冬のスポーツ、シャフルボード大会が、2月7日に浮田集会所講堂で開催されました。男女問わず16名、8組(もちろん年齢も)。試合が進むにつれて雰囲気も盛り上がり、「円盤」のぶつかる音に、残念がったり、笑い声が上がったり、楽しくエキサイトした時間の様でした。参加してみると楽しいもので、お友達お隣さん誘って「腕試し」してみませんか? 今回の優勝は、伊藤建夫さん・平野米夫さんペアでした。(二三)



# 薪のある暮らし研修

今冬、初積雪の中、12月14日、14名の参加で北上市岩崎にある炭窯元「楽炭」に向かいました。



楽炭の千田代表は昔から木炭に興味を持ち、現在は指導者として、森林資源の活用、木炭文化の継承に尽力している方でした。次に夏油古民家カフェ・



コビルに移動して、中村オーナーに薪ロケットストーブ暖房について説明を受け①ストーブ一台でも店全体が暖かい事②煙くないこと③天井に回した煙突が熱くない事など、驚きの連続でしたが、利用となると「ちょっと…」の声もありました。



炭窯、古民家ともかつては、どの地域にも有り、懐かしく思いました。二人とも、自分の知識を惜しまず仲間に広め、活動していることに感心しました。(辰)



## リレー エッセー

### 「幸運の女神様」

年が明けて、はや1か月経過しました。今年も大きな病気や怪我又災害などなく健やかに過ぎたいと思っておりますが、願わくばチョットだけ幸運に恵まれたらよいなあと思っております。

そこで皆さんは幸運に恵まれるにはどうしたらよいかご存じですか？ それは幸運の女神様に気に入られる事です。ではどうしたら気に入られるか？ 幸運の女神様は「謙虚」と「笑い」それから「ホンのちよつとやんちゃな性格」な方を好むようです。

「これだけで幸運を手にする事が出来れば苦労はない」と思うでしょうが、これがまた難しい。しかも幸運の女神様は「女」どころやらずば向かされると再び気に入られるのは至難の技のようです。

さあ皆さん幸運の女神様に気に入られるよう日々精進しましょう。

著書「運を育てる」  
米長邦雄より  
(毒沢 岩田浩美)

### ゆるゆると

カントリーヘッジ  
(羊の生垣)

一月に入って半月が経ち、玄關脇にクリスマス前から挿していたシナヒイラギの赤い実がすべて無くなっていくのに気がつく。長方形の葉っぱと小さな柄の緑色だけが残され、色合い寂しくなった。

年明けから厳しい寒さが続き、毎日雪が降る。鳥たちも食べられるものを採るのが大変だろうと察する。家周りのイチイや野バラなどの実はすでにない。

裏山に挿木で増やしたアオキの葉っぱが一気に無くなったのは、雪の上の足跡からカモシカと思われる。

裏山と同時期に庭に植えたアオキは目立ちがよく、ツツジの木陰でカモシカから隠されたことも幸いしてか大株になっていた。その枝葉を切り、羊のくるるんのおやつに提供。緑の葉はこの時期ご馳走と夢中で頬張る。そんな羊の傍らで、敷き藁の温かさを心地よく感じていた私も、生きものの一員として厳しい冬の日々を生きる。

(山本 実紀)

